

近畿圏6府県における区市町村別 夜間および昼間将来人口の推計

—昭和45, 50, 55, 60各年—

昭和42年3月推計

濱 英 彦

目 次

- I 推 計 目 的
- II 推 計 内 容
 - II-〔1〕 推計地域および推計項目
 - II-〔2〕 推 計 期 間
- III 推計方法の原則
- IV 推計手続きの概要
 - IV-〔1〕 人口シェアの推計
 - IV-〔1〕-1 人口シェアの差の変化型の設定
 - IV-〔1〕-2 人口シェアの差の延長方法
 - IV-〔2〕 第1次計算値の修正
 - IV-〔2〕-1 第1次計算値と一率修正値との関連による地域区分
 - IV-〔2〕-2 第1次計算値の修正計算
 - IV-〔3〕 昼間人口の推計
- V 推 計 結 果

I 推 計 目 的

東京、大阪、名古屋の各市を中心とする3大都市地域は、全体として、日本の地域人口分布を大きく変動させる要因であり、さらにこれら3地域をつらねる、いわゆるメガロポリスの展開に注目することが重要な課題になっている。しかしそれとともに、3大都市地域それぞれにおける地域内人口変動も、各地域ごとに特徴をもっており、その地域内変動を追跡することもまた重要である。

この観点から、ここでは大阪を中心とする将来人口の見とおしを検討することが目的であるが、実際の計算としては近畿6府県——滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山の6府県——について、区・市・町村別に将来人口推計を試みる。

II 推 計 内 容

II-〔1〕 推計地域および推計項目

推計地域は滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山の6府県に含まれる374区・市・町村を対象とし、推計項目はこれら各地域ごとの夜間将来人口および昼間将来人口である。各府県に含まれる区・

・市・町村数は以下のとおりである。

滋賀 53市町村（6市+47町村）

京都 52区市町村（9区+6市+37町村）

大阪 68区市町村（22区+26市+20町村）

兵庫 104区市町村（8区+19市+77町村）

奈良 47市町村（8市+39町村）

和歌山 50市町村（7市+43町村）

合計 374区市町村（39区+72市+263町村）

Ⅱ〔2〕 推計期間

推計年次は昭和45, 50, 55, 60の各年とし、推計基準人口には昭和40年10月1日センサス人口をとり、各年10月1日現在人口を推計する。

Ⅲ 推計方法の原則

一般に大都市圏人口は、その全圏域人口として、激しい増加を続けており、それ自体が大きい問題となっているが、それとともに、圏域内の個別地域をみると、これも各地域ごとに異なる人口変動を示しており、その差別的な変化傾向がいちじるしい。したがって、大都市圏域人口の将来予測を試みすることは、その全圏域人口としても、圏域内個別地域人口としても、かなりむずかしい課題である。しかし大都市圏域内の人口が、これまでに実際に経過した人口変動の傾向をみるならば、そこには、ある程度、人口変動の地域的特徴が作り出されており、したがって、その状況から、人口変動の地域パターンに関する一定の変化型を設定して、それらに対応する将来人口推計を試みることが可能である。このような考え方をとる場合における推計方法の原則として、ここでは以下の4点を考慮する。

（1）推計人口の性格：ここで計算される推計人口は、過去から現在に至るまでの人口変化を、すう勢的に将来に延長した場合に得られる人口である。したがって、これまでの行政水準における対策は将来値に含まれるが、今後に予想される、あらたな政策的努力は含まれない。

（2）大都市圏域内における人口変動パターンの設定：大都市圏域内における人口変動については、これを中心地域から周辺へむかっての変化としてみるならば、前述のように、経験的につぎの5つの段階に区分できる。

- 1° 都心地区における人口減少
- 2° その隣接地域における人口停滞
- 3° その周辺地域における人口急増
- 4° その外周地域における人口緩増
- 5° 周辺農村地域における人口減少

これら5つの段階は、現状において、地域的に連続するパターンとして実在しているが、それとともに、今後、大都市圏域人口の全体としての増加と、その圏域内における分散の進行とをとおして、個別地域ごとに、将来の時系列的推移にも実現の可能性を予想させるものである。

そこで大都市圏域内個別地域人口の将来推計は、この大都市圏域における人口変動の一般的パターンを、推計方法の基礎において考える。

（3）人口シェアによる計算：大都市圏域内における個別地域ごとの人口変化を追跡するデータとしては、各地域人口が所属府県人口にしめる人口シェアを中心に考える。

一般に人口推計に際して、人口数系列のデータとしては（人口構成系列、人口動態系列のデータで

はないの意味)、人口実数、人口伸び率、人口シェア、特化(=偏在)係数などが考えられるが、大都市圏域内人口は変動が大きいので、直接、人口実数や伸び率で予測するよりも、人口シェアによる変化のほうが安定性をもっている。

また大都市圏域内人口としての地域バランスを検討するためには、結局、人口シェア計算が最終的には必要であり、はじめに人口シェアを設定することが、計算上有用である(ただし人口数増減傾向の確認がおくれることは欠点である)。

(4) 府県別将来推計人口の採用：人口シェアの将来値は、各府県将来人口に適されて、個別地域人口の推計値を得るが、この場合に適用すべき各府県将来人口は、すでに厚生省人口問題研究所において推計されている各都道府県別将来人口推計値(メディウム値)を採用する。また、この府県別人口推計値を、府県内個別地域推計値の合計値に対する率として採用する。

IV 推計手続きの概要

IV-〔1〕 人口シェアの推計

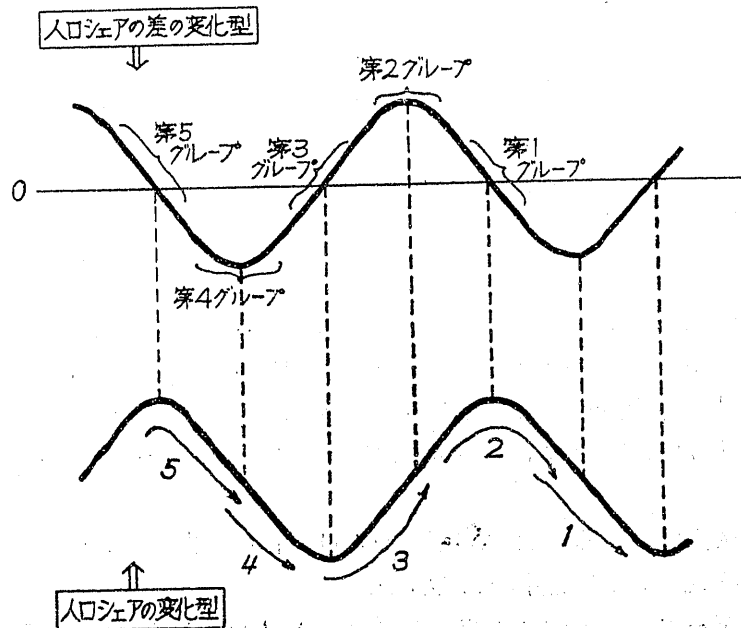
この推計における推計手続き上の中心的な作業は、個別区市町村別人口が所属府県人口にしめる人口シェアの将来値をどのように設定するかである。その方法は、IIIの推計方法の原則で述べたような、地域人口変動の5つの段階を基礎として考える。

IV-〔1〕-1 人口シェアの差の変化型の設定

近畿地方6府県における各区市町村別人口が所属府県人口にしめる人口シェアを、昭和25, 30, 35, 40の各年について計算し、これらの値の年次変化から、5段階の変化型を設定する。この場合、人口シェアと人口シェアの差との両者について変化型を想定するが、順序としては、まず人口シェアの差の変化型をきめることによって、それに対応して人口シェアの変化もきまる。その実際の変化型区分をシェーマとして示すと、図1のグラフとなる。

第1グループ：人口シェアの差がすでにゼロ・ラインを切ってマイナスに入っており、したがって、人口シェア自体の変化としては減少を続ける。

図1 人口シェアの差の変化型および人口シェアの変化型



第2グループ：人口シェアの差はプラスであるが、プラス分は減少にむかい、したがって、人口シェアは増加が頭打ちの傾向となる。

第3グループ：人口シェアの差はすでにゼロ・ラインを切って上昇を続けており、したがって、人口シェアも増加を続ける。

第4グループ：人口シェアの差はマイナスであるが、マイナス分は減少にむかい、したがって、人口シェアは減少が底打ちの傾向となる。

第5グループ：人口シェアの差がマイナスで、かつマイナス分が増加し、したがって、人口シェアの減少がいちじるしい。

この5段階の変化型は、Ⅲの推計方法の原則に示したような、人口変化の5段階区分に対応しており、したがって、地域的には、都心地区から周辺地域へむかっての変化であり、時系列的には、第5グループから第1グループの方向への変化である。しかしこの5グループそれぞれについて、将来への具体的な延長方法を考えることは、かなりむずかしい課題である。ここでは人口シェアの差の延長方法として、次項のような原則をもちいる。

Ⅳ-[1]-2 人口シェアの差の延長方法

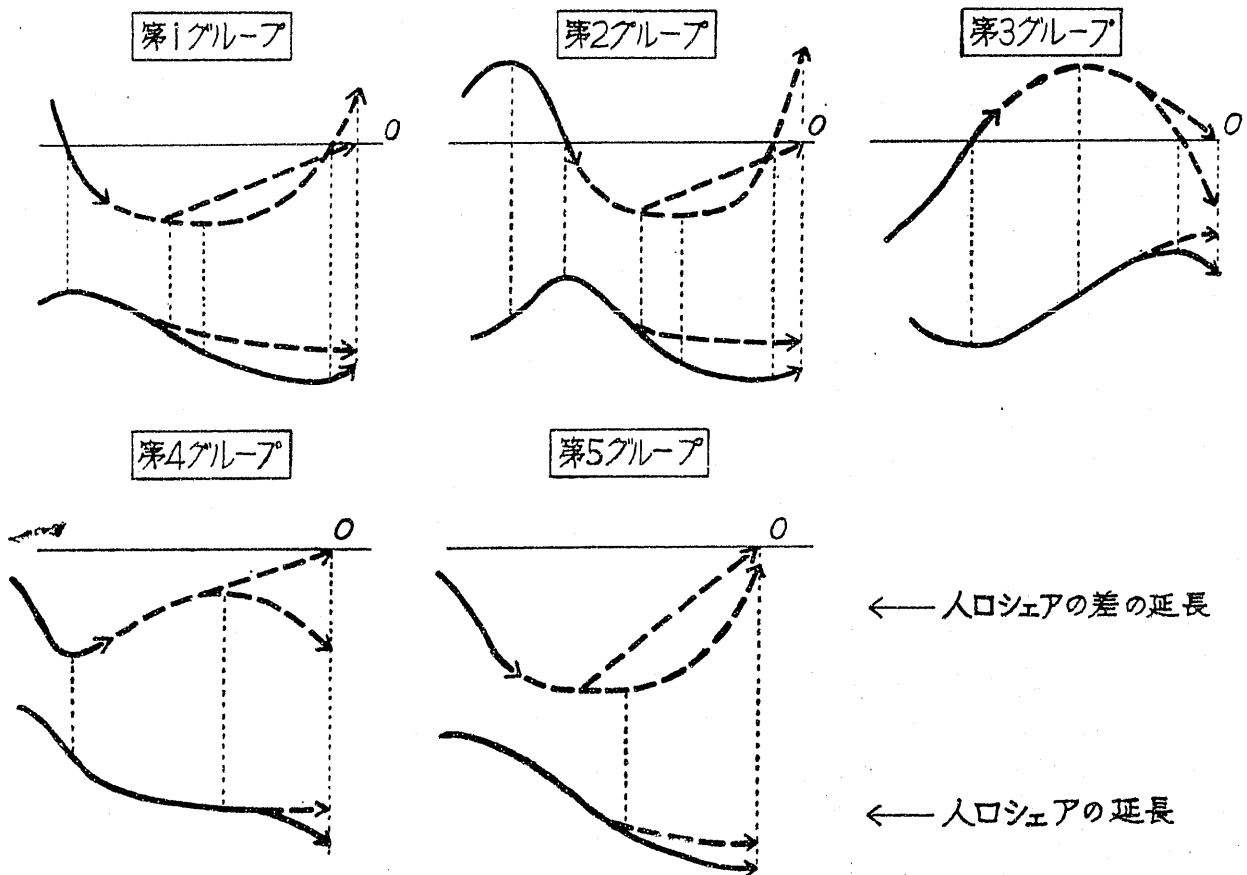
人口シェアの差を将来に延長する方法の原則として、つぎの3点を取りあげる。

(1) 人口シェアの差の変化は対称変化を仮定する：昭和30～50～70年の3年次を取りあげ、人口シェアの差の変化は、この期間内において、昭和50年を軸とする対称変化とする。その形態は図2の各グラフにみられるような、上または下に凸の曲線である。昭和50年を対称軸とするのは、この時期が日本の経済社会変動の転換点としてあらわれ、それが人口流動現象としては、移動量の縮小、したがって人口変動の縮小につながるという仮定である。

(2) 人口シェアの差の変化はゼロ・ラインを横切らない：人口シェアの差は対称変化とするが、その変化は将来において、ゼロ・ラインを横切って上昇あるいは減少させない。これは人口シェアに直した場合に、その変化は上限あるいは下限へ漸近するが、反転して減少あるいは増加にむかわないという仮定である（図2参照）。

(3) ゼロ・ラインへの接近を早める：人口シェアの差の変化を、対称変化によって計算したのち、第3グループ以外の各グループは、ゼロ・ラインへの接近を早める修正をする。これは人口シェアに直した場合、対称変化による延長のままでは、昭和70年までに人口シェアがマイナス、したがっ

図2 人口シェアの差の延長とその修正



て人口がマイナスになる地域がみられるからである（図2参照）。

以上3点を延長方法の原則としたうえで、延長計算の具体的な方法としては、まず人口シェアの昭和30～35年差と35～40年差との両者について、さらにその差（＝2次階差）をとり、その2分の1を昭和35～40年差に加えて、昭和40～45年差とする。

つぎに、さきの2分の1のさらに2分の1をつくり、これを2次階差として、昭和40～45年差に加えて、昭和45～50年差とする。

つぎは2次階差ゼロ、したがって昭和50～55年差は昭和45～50年差と同値である。これ以降は対象変化となり、昭和55～60年差＝昭和40～45年差、昭和60～65年差＝昭和35～40年差、昭和65～70年差＝昭和30～35年差である。

このように与えられた人口シェアの差は、さきに延長方法の原則（2）および（3）に示された条件にしたがって、さらに修正される。すなわち、ゼロ・ラインを横切る場合には、その直前の年次と昭和65～70年差ゼロの仮定とを直線で結ぶ。この修正は第3グループが中心である。第3グループ以外については、原則（3）にしたがって、ゼロ・ラインへの接近を早めるために、昭和40～45年差については計算値をとり、そこから図2に示されるように、昭和65～70年差ゼロへ直線で結んで各年差をきめる。

以上の計算および修正によって得られた各年人口シェアの差を、昭和40年人口シェアに順次に加算することによって、昭和45年以降5年ごとの人口シェアが算出される。この各年人口シェアを、すでに与えられている各府県将来推計人口に適用することによって、各区市町村別将来人口が計算される。これを第1次計算値とする。

この計算のはじめに、人口シェアの差について、2分の1を2次階差とする2次曲線を仮定したが、これは延長方法の原則（1）に示された対称変化をつくるための一つの手段にすぎず、特別の意味はない。同様に原則（2）および（3）による修正も、試行錯誤による修正であって、これらの計算結果は、最終的には、得られた人口シェアの段階、あるいは人口の第1次計算値の段階で、各府県人口を枠として修正される。

IV-〔2〕 第1次計算値の修正

第1次計算値については、6府県ともすべて、その区市町村別計算値の積みあげ合計値が、府県総人口推計値をうわまわる結果となっている。したがって、この結果を各府県総人口を枠として、どのように圧縮修正するかがつぎの課題である。ここでは、まず各府県ごとに、総人口を枠として所属区市町村人口を一率修正し、これと第1次計算値との関連を考える。

IV-〔2〕-1 第1次計算値と一率修正値との関連による地域区分

第1次計算値のうち、昭和70年値に対して一率修正値をつくり、この両者と過去の人口変化傾向との三者を観察することによって、各区市町村を12のグループに区分する。その一覧表が表1である。この12区分をⅢの推計方法の原則に示した人口変動パタンの5段階区分、またしたがって、IV〔1〕に示した人口シェア変化型の5段階区分に対応して、その性格をみるならば表2のように総括される。表1および表2において、各グループの特徴をみるならば、以下のように考えられる。

Aグループ：①および①'は都心地区における激しい人口減少をあらわしており、とくに①'は昭和70年に人口がほとんどゼロに低下する勢いである。

Bグループ：②および③は現在までの人口増加傾向が、今後、減少にむかうが、②の場合には、昭和70年の第1次計算値も一率修正値も減少方向で与えられるのに対して、③では第1次計算値は上昇方向、一率修正値が減少方向となる。

表1 近畿圏6府県における区市町村別人口推計のための地域区分表

地 域	計	A		B		C	D			E			
		人口減少地域		人口停滞地域		人口急増地域	人口緩増地域			人口減少地域			
		①'	①	②	③	④	⑤	⑥	⑥'	⑦	⑧	⑨	⑨'
滋 賀 県	53	—	—	—	—	13	—	—	—	11	10	19	—
京 都 府	52	—	3 (3)	—	—	22 (6)	—	—	—	10	3	11	3
大 阪 府	68 (22)	10 (10)	4 (4)	5 (5)	1 (1)	39 (2)	1	3	2	—	—	—	3
兵 庫 県	104 (8)	—	1 (1)	2 (2)	3 (3)	20 (2)	2	6	1	—	—	51	13
奈 良 県	47	—	—	—	—	23	—	—	—	7	3	3	14
和 歌 山 県	50	—	—	—	—	11	—	—	—	13	7	14	5
合 計	374 (39)	10 (10)	8 (8)	7 (7)	4 (4)	128 (10)	3	9	3	41	23	98	40
第1次計算値(×印)と一率修正値(×'印)との関連による推計方法区分													

() 内の数字は区数.

表2 推計方法上の地域区分

	人口変動地域パターンによる区分	人口シェア変化型による区分	第1次計算値と一率修正値との関連による区分	第1次計算の修正方法区分	所属地域数 (左のうちの数)
A	都心地区の人口減少	第1グループ：人口シェア減少	①' ①	人口減少を緩和	18 (18)
B	隣接地域の人口停滞	第2グループ：人口シェア増加頭打ち	② ③	現状抑制延長で人口減少	11 (11)
C	周辺地域の人口急増	第3グループ：人口シェア増加	④	人口急増を抑制	128 (10)
D	外周地域の人口緩増	第4グループ：人口シェア減少底打ち	⑤ ⑥ ⑥'	現状延長で人口増加	15
E	農村地域の人口減少	第5グループ：人口シェア減少	⑦⑧⑨⑨'	現状延長で人口減少 (⑦は反騰型)	202
合計地域数					374 (39)

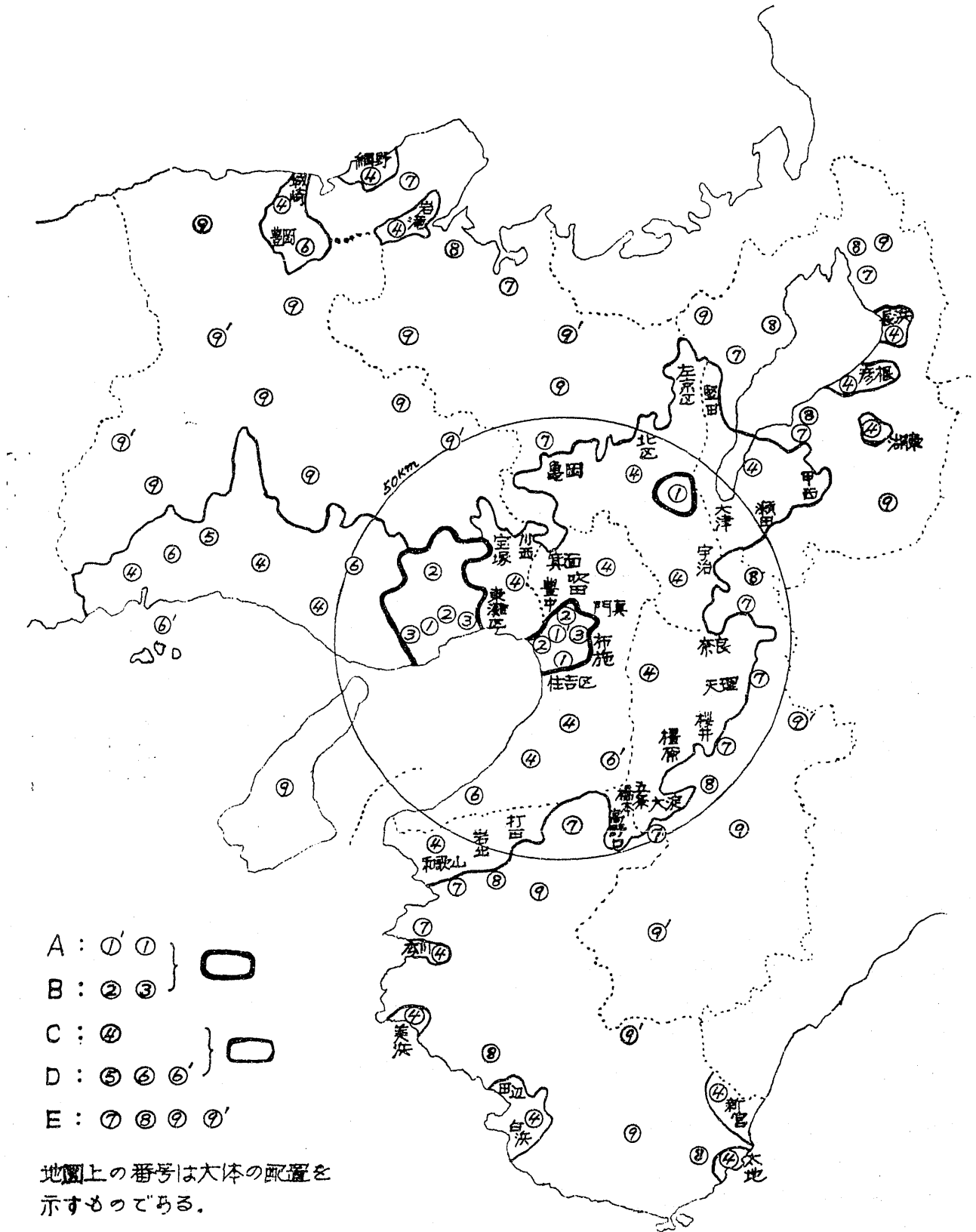
Cグループ：④は人口急増を続ける地域であり，将来値も大きい増加で与えられる。

Dグループ：⑤⑥⑥'は人口緩増地域であるが，このうち⑤の変化は前述の③と同様に，第1次計算値で増加，一率修正値で減少となる。⑥の変化は②と同様に，ともに減少方向，⑥'はその特別の場合で，昭和70年値はゼロに近くなり，さきの①'の場合に似ている。

Eグループ：⑦⑧⑨⑨'の4グループは，いずれも，これまで人口減少を示してきた地域であり，昭和70年値の位置は，⑦が第1次・一率修正ともに上昇方向，⑧が第1次上昇，一率修正減少，⑨が両者ともに減少方向，⑨'はともにゼロに接近する。

これら12区分による所属地域数を表1および表2によってみると，地域数合計374のうち，Eグループの人口減少地域が202で総数の約55%をしめ，そのうちでは人口がゼロに接近する⑨グループが

図3 第1次計算値と一率修正値との関係からみた区市町村別地域区分の概要



98地域に達し、これだけで総数の25%である。

逆に人口急増のCグループは、128地域で総数の3分1のをしめる。したがって、対照的な性格を示すC・E両グループが、地域総数の90%以上をしめることになり、その中間あるいは漸移地帯であるBおよびDグループは、それぞれ11および15地域にすぎない。またAグループに属する都心地区の人口減少地域も、わずか18地域にとどまるが、しかしその人口シェアは大きいので、その変化の影響も大きい。

この12区分による各区市町村の実際の地域パターンは図3に示される。AおよびBグループに所属するのはすべて区であり、したがって、その地域分布は大阪・神戸・京都3市に限定される。

このグループの周辺に、CおよびDグループ所属の各地域が切れ目なくつながり、いわゆる京阪神大都市地域としての実体的な地域範囲をあきらかにする。ただし、この地域内にEグループ所属の2、3の町村が包みこまれるとともに、逆にこの地域外に飛地として、C・Dグループの小集団が点在する。地域名では、滋賀県で湖東・愛知川・彦根・長浜・京都府で野田川・岩滝・網野、兵庫県で豊岡・城崎、和歌山県で広川・田辺・白浜・上富田・太地・新宮である。

またC・Dグループ内としては、Dグループの⑤⑥⑥'は大阪と兵庫にのみ分布し、それ以外の県にあらわれない点が注目される。

C・Dグループの外側には、広大なEグループの地域がひろがるが、このグループに含まれる⑦⑧⑨⑨'のうち、⑦および⑧は大阪と兵庫に分布せず、これはちょうど、さきのDグループが両府県に限定されるのと対照的である。⑦および⑧の分布は、奈良と和歌山では、内側のCグループ(=④)地域に隣接して数多く立地し、滋賀では琵琶湖沿岸に目立っている。

IV-[2]-2 第1次計算値の修正計算

第1次計算値を修正して各県総人口に一致させる方法としては、表2の第4欄に要約したような原則をとりあげる。すなわち、都心地区Aグループの現状は、人口減少があまりに大きいので、この減少傾向を緩和する修正を考える。

これに対して、Bグループは、これまでは人口増加を示しているが、②および③の両地域は、ともに昭和70年における一率修正値が減少位置にあるので、これまでの増加傾向を抑制延長することによって、人口減少の方向をつくる。

一方、Dグループについては、これまでの人口増加傾向をそのまま延長する方向で考え、昭和70年値にみられる減少人口は採用しない。しかしEグループは、現状までの人口減少傾向を延長する方向で考える。このグループについて、人口減少緩和を考慮することは、すう勢的には困難である。ただしEグループのうち、⑦の地域は昭和70年値が上昇位置にあるので、この地域だけはこれまでの減少傾向を反騰延長させることによって、人口増加の方向をつくる。これはちょうど、Bグループにみられた抑制延長と逆の変化で対応している。

最後に人口急増のCグループは、それ以外の各グループで採用された人口減少緩和修正による増加分に対応して、人口急増を抑制し、それによって個別地域積みあげ人口を各府県総人口推計値に一致させる。

以上の修正原則をきめたうえで、実際の修正計算方法は、以下のようにつくる。

Aグループ：①'および①の両地域とも、減少傾向を緩和するために、昭和40年人口の30%減を昭和60年値にとり、その間を直線補間して、昭和70年までのばす。ここで30%減を昭和60年値に採用するのは、かって東京都の都心各区について、その人口増加率の変動から将来推計を試み、その結果、平均的にみて、昭和60年に30%減の推計値となったことを援用したものである(この計算の例外とし

て、京都市の3区は減少傾向が比較的弱いので、昭和40～70年間に直線補間する。この場合の昭和70年人口は一率修正値を使用する。

Bグループ：②および③の両地域とも、昭和25, 30, 35, 40および70各年の人口に2次曲線を適用して、現状からの延長を計算する。この場合の昭和70年人口は、減少位置にある一率修正値を使用し、これによって2次曲線は上に凸となり、人口はこれまでの増加傾向から減少方向となる。

Cグループ：①'④および⑥⑥'⑨'の各地域の昭和70年人口が、修正計算によって、第1次計算値より人口増加となるが、その増加分をこのCグループ(=④)各地域の昭和70年人口において、各府県ごとに一率減少修正をおこない、昭和70年人口を再計算する。昭和40～70年間は直線補間によってつくる。

Dグループ：これまでの増加傾向をそのまま延長するが、具体的には、⑤の地域は昭和70年の第1次計算値が上昇位置にあるので、これを使用して昭和40～70年間に直線補間で計算する。

⑥および⑧'地域の場合は、昭和25, 30, 35, 40各年人口に直線を適用して、昭和70年まで延長計算する。

Eグループ：このグループのうち、⑦地域は上昇位置にある昭和70年人口の一率修正値を使用して昭和25, 30, 35, 40および70各年の人口に2次曲線を適用する。これによって、2次曲線は下に凸となり、人口はこれまでの減少傾向から増加方向に転ずる。

一方、⑧⑧'の3地域は、昭和40～70年間に直線補間して減少方向を続ける。この場合の昭和70年人口は一率修正値を使用する(ただし大阪と兵庫では、昭和25, 30, 35, 40各年人口に直線を適用して、これを昭和70年までのばす。この地域では減少傾向がそれほど大きくないからである)。

以上の修正計算によって、昭和70年における各府県区市町村別夜間将来人口の積みあげ結果は、その府県の推計総人口に一致する。しかし、それ以外の昭和45～65年の中間年次における区市町村別積みあげ値は、各年次ごとにCグループでの修正をしていないので、府県総人口と完全には一致しない。Cグループの修正は、前述のように、昭和40～70年間に直線補間している(この場合、Cグループについて、各年次ごとに一率減少修正を試みることは、修正されたCグループ各地域の年次変化が不規則となるので採用していない)。

したがって、昭和45～65年間の各年次は、各府県ごとに区市町村別計算値の積みあげをつくり、これを府県推計人口に一致させて、最終的な修正をおこなう。この修正は府県内区市町村に一率に適用する。その修正係数は最高1.04344(兵庫の昭和55年)から最低0.93122(奈良の昭和50年)までの間にある。

以上の推計手続きによって、昭和45～70年間ににおける5年ごとの区市町村別夜間将来人口が計算され、その各府県積みあげ値は府県推計人口総数に一致している。これらの結果のうち、ここでは昭和45～60年間の計算値を推計人口として採用する(推計結果表A参照)。

IV-〔3〕 昼間人口の推計

昼間人口を推計する方法としては、昼間人口自体の変化を将来に延長計算することも考えられるが、より一般的な方法としては、まず夜間人口推計値を計算し、これに対応して昼間人口推計値を算出することが考えられる。この場合の推計手続き上の中心は、昼夜間人口比をどのように仮定するかである。

もともと基礎となる夜間人口の変化が激しいので、昼夜間人口比の将来変化はさらに予測困難であるが、ここでは、きわめて単純に考え、昭和35年および40年の2時点における昼夜間人口比を計算

し、この2点を結んで、昭和60年まで直線延長する。

この計算によって得られる昭和45、50、55、60各年の昼夜間人口比を、それぞれ対応する年次の夜間人口に適用して、各年昼間人口が計算される。

ここでもう一つの仮定を考えるが、それはこの近畿地域6府県とそれ以外の地域との間には、通勤人口の交流による流入超過分がないという仮定である。実際には若干の流入超過分が発生するが、これを無視することによって、6府県内区市町村に発生する通勤人口の流入超過分合計と流出超過分合計とは一致することになる。

したがって、さきに計算された夜間および昼間人口について、両者の差をとり、流入超過地域における流入超過分合計と流出超過地域における流出超過分合計とをそれぞれつくるならば、6府県全体では、この2つの合計値はプラス・マイナスの符号をとって、絶対値は一致すべきである。

実際の計算結果では、両者にかかなりの差ができ、つねに流出超過分合計が流入超過分合計をうわまわる。その値は昭和45年に入超150万、出超165万で、差が15万、昭和60年には入超226万、出超314万で、その差は88万に達する。

この入超分と出超分とを一致させて差をゼロとするためには、入超分を増加させて出超分に一致させるか、逆に流出超過分を減少させて入超分に一致させるか、あるいはさらに別の一致点を設定するかである。ここでは、大都市地域内における、これまでの通勤人口流動の増大傾向をそのまま延長することを前提にとり、入超分合計を増加させて、出超分合計に一致させる計算をつくる。

実際の計算は、各年次において、6府県全体としての流出超過分合計と流入超過分合計との差(=B)をとり、この差を大阪・兵庫・京都の3府県合計の流入超過人口(=A)に加えて、流入超過人口の修正値(=A+B)をつくる。修正比 $A+B/A$ をとり、この比を一率修正比として、3府県内における各流入超過地域の流入超過人口に適用し、入超人口の修正値をつくる。この修正計算を3府県にのみ適用するのは、流入超過分の大部分がこの3府県で発生しているからである。

各地域において修正計算された流入超過人口を夜間人口に加えることによって、昼間人口の修正値が得られる(推計結果表B参照)。

V 推 計 結 果

夜間人口についての推計結果は、推計結果表Aに示されているが、この推計人口の地域変動パターンをみるために、昭和40年センサス人口を100とする昭和60年推計人口の指数をとり、その地域分布をつくると図4のようなパターンとなる。

この地図によれば、大阪府22区のうち、14区は指数72に低下して、中心部に大きな人口減地域を形成し、明瞭なドーナツ現象をあらわすことになる。神戸市と京都市とにおいても同様に、小規模なドーナツ化がみられる。大阪の人口減少地域の外側に隣接して、人口指数100~200のリング状地帯がみられるが、その巾はきわめて狭く、むしろさらにその外側に指数200~300の台地が大きく広がり、100~200のリング状地帯は、その台地の切れ目に放射状に伸びている。

指数200~300の台地のなかでは、大阪中心部からみて東北方にひろがる広大な台地がいちじるしく目立っており、その他の2つの台地——北西部の伊丹台地と南部の松原台地——は小さい。

広大な東北台地のなかには、指数300をこえる3つの山があり、それぞれ、門真、長岡、宇治を頂点としている。また前二者の最点指数は400をこえている。

2つの小さい台地——伊丹台地と松原台地——のうち、伊丹台地はすでに、阪神地域における郊外住宅地として、人口増加が頭打ちの段階に入っているとみられるが、南部の松原台地は、その周辺か

らさらに南方へかけて、指数100をいくらかこえるレベルの広大な泉南地域をヒンターランドとしており、これら南部地域全体として、今後の人口の伸びが注目されよう。

したがって、大阪を中心とする人口分散の流れは、おおまかにみて、西部地域の神戸方面からはじまって、北部→東北部→東部→南部へと右まわりに回転していることになるが、現状までのところでは、東北部から東部へかけての分散と集積とがとくに強い流れを示している。

このような人口分散地域のひろがりを通過すると、そのさらに外周部には、ふたたび指数100未満の人口減少地帯があらわれる。この地域は現状からみて、近畿農山村における人口流出地域を形成する。指数100未満へ低下する境界域は、図4にみられるように、兵庫・奈良・和歌山方面では明瞭に区切られるが、東北部の京都・滋賀方面に対しては、琵琶湖沿岸に至るまで、指数100以上地域を連続させている。

以上の地域変動パターンは、夜間人口についての結果であるが、この変化に対応する昼間人口パターンは、都心地区への昼間人口集積をますます強める傾向となる。たとえば、昼夜間比の最高は大阪市の東区であり、昭和40年の5.9倍に対して、昭和60年は17.7倍に達する。第2位の北区は同じく4.3倍から11.5倍へ上昇する。これを実数でみると、東区の昭和40年人口は、夜間5.1万、昼間29.7万、その差24.6万、昭和60年には、夜間3.7万、昼間65.0万、その差61.3万に達する。北区の場合も昭和40年の昼夜間差23.6万から、昭和60年には54.7万に上昇する。

このような都心地区における昼間人口増加に対応して、周辺地域における昼夜間人口比は大きく低下するが、特殊の例外を除いて、昼夜間比は大体0.8~0.5が中心となる。

この昼間人口推計値は、都心地区も周辺地域も、最近のすう勢的变化を将来に延長することによって計算されており、夜間人口の場合と同様に、今後の分散計画や再開発計画は考慮されていない。また実際の昼夜間人口流動は、交通施設や都心施設的能力と密接に関連しており、過去の実績を延長して予測することには、夜間人口推計以上に無理がある。

しかしここでの推計方法上の原則は、夜間・昼間人口ともに、延長推計を基礎としており、したがって、ここで得られる推計結果の意義は、このすう勢的变化を基本的性格とする見とおしをどのように評価し、どのような具体的対策をたてるかの基礎資料を提供する点にある。

「注記」

- 1) この推計にもちいた資料のうち、昭和40年分の昼間人口は各府県集計によるもので、総理府統計局の公表数字ではない。
- 2) 推計結果表Bにおける京都市は昭和40年の区別の資料が得られないため各区別推計結果は計算されていない。

推計結果表A

近畿圏6府県における市(区)郡別夜間将来人口
(昭和45, 50, 55, 60各年)

(各年10月1日現在)

地 域	センサス人口				推 計 人 口			
	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年
滋 賀 県	861,180	853,734	842,695	853,385	879,800	913,600	947,900	977,800
市 郡	324,356 536,824	326,644 527,090	331,522 511,173	345,737 507,648	363,314 516,486	383,598 530,002	403,882 544,018	422,357 555,443
大彦長近八草	102,860	107,498	113,547	121,041	129,240	138,284	147,237	155,421
津根浜八幡	64,951	63,339	60,864	62,740	65,553	68,784	71,954	74,742
江日市	46,722	46,903	47,700	49,871	52,762	55,994	59,182	62,061
日市	45,964	45,261	44,545	44,320	44,070	44,326	44,698	45,005
草津市	31,104	30,486	29,844	29,437	29,171	29,212	29,350	29,464
津市	32,755	33,157	35,022	38,328	42,518	46,998	51,461	55,664
滋栗野甲浦神愛犬坂東伊高	27,787 28,021 52,040 90,473 53,630 35,466 48,444 27,706 43,369 39,110 36,244 54,534	26,474 29,839 52,167 88,872 52,086 33,945 46,574 26,836 43,496 37,935 35,055 53,811	25,212 30,598 53,298 85,788 49,057 32,783 44,127 26,410 42,214 35,952 33,414 52,320	25,396 36,566 56,619 85,153 46,714 31,783 43,789 25,438 40,351 34,496 30,994 50,349	26,032 44,962 61,341 85,824 45,799 31,314 44,773 24,794 39,296 33,841 29,341 49,169	26,962 53,695 66,470 87,990 45,101 31,124 46,049 24,402 38,471 33,426 27,934 48,378	27,999 62,452 71,564 90,326 44,360 30,966 47,338 24,044 37,830 33,004 26,556 47,579	29,018 70,911 76,289 92,444 43,396 30,710 48,438 23,628 36,476 32,441 25,113 46,579
京 都 府	1,832,648	1,933,886	1,993,403	2,102,808	2,272,800	2,498,899	2,754,000	3,006,600
市 郡	1,455,463 376,277	1,558,183 375,703	1,621,671 371,732	1,713,764 389,044	1,835,660 437,140	2,003,844 495,055	2,192,909 561,091	2,379,895 626,705
京 都 市	1,119,712	1,219,226	1,284,818	1,365,007	1,452,656	1,577,566	1,718,270	1,856,655
北 上 中 東 下 南 右 伏 知	109,031 137,822 152,552 155,522 119,938 134,593 86,754 110,367 113,133	117,405 149,835 166,829 166,775 128,552 145,871 96,541 123,496 123,922	123,230 148,427 177,692 163,572 138,645 146,174 104,918 146,867 135,293	131,207 140,879 186,557 150,112 154,527 135,576 109,521 193,471 163,157	140,319 134,390 195,429 137,522 171,343 124,922 113,289 241,548 193,894	153,015 131,695 209,383 128,954 192,400 117,902 120,036 295,026 229,155	167,250 130,156 225,401 121,445 215,456 111,860 127,950 351,830 266,922	181,271 128,211 241,068 113,443 238,322 105,382 135,644 408,687 304,627
福舞綾宇宮亀	102,158 54,055 38,231 36,225 42,480	102,588 53,235 40,061 36,200 42,537	99,615 51,258 47,336 34,799 42,355	96,641 48,339 68,934 33,285 43,335	95,017 46,352 107,439 32,253 45,351	95,472 45,667 147,941 32,119 48,547	97,493 45,386 190,282 32,273 52,222	99,973 44,970 232,868 32,337 55,815
乙久綴相北船天加与中竹能	23,047 20,134 47,318 53,906 20,453 63,741 17,573 11,811 35,293 26,108 38,159 18,734	25,160 20,501 47,272 54,020 20,764 62,334 16,768 11,103 35,547 26,140 38,273 17,821	31,130 21,090 47,685 51,709 20,229 59,156 15,335 10,326 34,966 25,692 37,499 16,915	52,104 27,269 51,866 51,319 17,200 55,332 13,667 9,135 34,124 25,496 36,229 15,303	90,254 38,712 60,108 52,538 14,935 52,158 12,291 7,930 33,842 25,169 35,299 13,904	129,942 50,932 69,783 54,245 13,127 50,554 11,281 6,969 34,454 25,580 35,274 12,914	171,296 63,763 80,207 58,729 11,416 49,723 10,362 6,058 35,432 26,420 35,655 12,030	212,933 76,653 90,596 62,431 9,639 49,056 9,394 5,112 36,378 27,395 36,024 11,094

推計結果表A (つづき)

(各年10月1日現在)

地 域	センサス人口				推 計 人 口			
	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年
大 阪 府	3,858,241	4,619,583	5,504,746	6,657,189	7,505,900	8,337,300	9,009,400	9,494,200
市 部	3,626,201	4,370,771	5,228,462	6,301,630	7,071,324	7,822,555	8,418,972	8,837,773
市 部	232,045	248,812	276,284	355,559	434,576	514,745	590,428	656,427
大 阪 市	2,015,350	2,547,316	3,011,563	3,156,222	3,179,872	3,135,196	2,996,030	2,758,891
北 区	66,918	82,008	84,494	72,017	67,815	63,549	58,206	52,073
都 島 区	50,196	82,765	109,446	110,164	104,073	97,211	89,037	79,656
福 此 区	79,475	90,684	94,417	86,021	81,265	75,907	69,526	62,199
東 区	43,878	65,267	82,765	88,792	96,765	97,093	90,504	76,977
南 西 区	37,976	56,523	59,704	50,728	47,924	44,764	41,000	36,680
港 東 区	44,545	63,896	73,480	67,505	63,773	59,568	54,559	48,811
天 正 区	41,508	71,692	99,053	116,497	131,531	139,804	139,814	129,624
南 王 寺 区	59,784	78,012	93,377	95,509	99,803	96,568	86,261	69,008
浪 速 区	50,970	71,549	79,405	75,006	70,859	66,187	60,622	54,234
大 淀 区	52,713	68,106	73,516	63,349	59,846	55,901	51,200	45,806
西 淀 区	43,505	70,827	83,063	77,867	73,561	68,711	62,934	56,303
東 淀 区	42,987	55,545	61,598	58,002	54,795	51,182	46,879	41,940
生 野 区	76,519	93,953	116,728	121,246	126,440	123,025	110,774	89,813
旭 城 区	163,125	208,762	283,869	314,106	334,994	338,729	319,711	277,731
阿 倍 野 区	116,129	132,430	138,635	128,403	121,303	113,305	103,778	92,845
住 吉 区	190,380	223,180	237,237	235,172	222,168	207,519	190,070	170,045
西 成 区	99,121	135,053	143,038	141,237	133,427	124,629	114,150	102,123
堺 市	132,623	168,299	217,887	251,862	273,190	286,332	285,048	268,617
和 田 市	133,253	152,141	163,414	157,918	149,185	139,350	127,633	114,186
豊 布 池 吹 泉 高 貝 守 枚 茨 八 泉 富 寝 河 枝 河 松 大 和 箕 柏 羽 門	143,505	182,660	240,870	293,592	298,131	301,303	300,923	296,331
大 槻 塚 口 方 木 尾	194,731	215,312	260,915	338,410	367,974	396,765	421,399	440,008
佐 田 野 林 川 野	151,509	188,652	214,652	212,819	201,050	187,794	172,002	153,881
中 施 田 田 津	273,434	315,208	371,502	466,412	508,016	549,026	583,470	608,475
大 槻 塚 口 方 木 尾	98,821	107,640	120,265	143,710	153,062	161,981	169,143	173,899
内 長 岡 内 原 東 泉 面 原 野	102,304	127,678	199,065	291,936	352,866	414,297	472,050	522,901
河 内 郡	150,129	176,052	212,754	271,704	301,424	330,719	356,663	377,481
三 豊 泉 泉 南 北	45,177	50,073	59,688	82,478	100,318	118,320	135,282	150,264
河 内 郡	87,621	97,321	116,795	196,779	281,815	368,638	452,867	530,333
河 内 郡	33,341	38,402	42,304	53,312	60,513	67,676	74,178	79,608
河 内 郡	58,874	63,785	79,043	130,735	182,710	235,721	287,023	334,047
河 内 郡	53,586	56,166	61,067	69,365	72,410	74,750	77,084	79,417
河 内 郡	65,932	78,710	102,295	138,856	162,652	186,516	208,643	227,738
河 内 郡	52,817	59,327	80,312	127,520	170,826	214,900	257,325	295,934
河 内 郡	48,572	55,091	71,859	115,136	156,185	197,993	238,307	275,081
河 内 郡	92,677	105,861	123,035	170,248	208,137	246,395	282,503	314,473
河 内 郡	47,039	51,306	56,827	66,521	70,020	73,291	75,751	77,138
河 内 郡	32,781	34,447	36,261	47,985	58,661	69,441	79,615	88,623
河 内 郡	34,492	38,668	50,188	113,576	191,131	270,656	348,610	421,292
河 内 郡	30,681	32,141	34,399	40,109	42,810	45,394	47,486	48,902
河 内 郡	39,492	42,281	50,115	79,524	109,160	139,361	168,527	195,186
河 内 郡	39,074	44,539	55,132	91,853	129,903	168,733	206,358	240,904
河 内 郡	35,270	38,293	46,834	71,406	73,624	117,071	139,172	159,214
河 内 郡	27,491	30,382	35,354	57,107	80,303	103,968	126,884	147,909
河 内 郡	57,796	63,756	70,701	84,771	90,915	96,823	101,694	105,116
河 内 郡	24,757	29,259	34,249	43,851	49,938	55,998	61,515	66,142
河 内 郡	31,487	33,362	35,645	44,972	51,207	57,415	63,065	67,804
河 内 郡	29,893	32,849	36,982	50,333	62,236	74,271	85,669	95,810
河 内 郡	17,313	20,858	34,228	95,209	170,610	248,005	324,058	395,191
河 内 郡	27,714	29,612	33,533	56,418	82,239	108,620	134,254	156,846
河 内 郡	16,070	15,505	14,225	13,586	12,934	12,241	11,386	10,377
河 内 郡	34,450	40,580	46,322	60,756	72,526	84,371	95,452	105,141
河 内 郡	74,365	81,432	91,294	99,335	107,318	115,231	121,929	126,884
河 内 郡	58,522	59,989	68,306	88,614	105,959	123,571	140,072	154,527
河 内 郡	20,924	21,694	22,604	36,850	53,600	70,711	87,335	102,652

推計結果表A (つづき)

(各年10月1日現在)

地 域	センサス人口				推 計 人 口			
	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年
兵 庫 県	3,311,566	3,622,606	3,908,127	4,309,944	4,607,100	4,907,600	5,126,300	5,241,202
市 部	2,329,148	2,658,651	2,990,332	3,438,009	3,770,384	4,104,917	4,369,427	4,541,827
神 戸 市 区	982,418	963,955	917,795	871,935	836,716	802,683	756,873	699,375
東 灘 区	820,986	986,344	1,113,977	1,216,666	1,293,887	1,350,442	1,365,916	1,335,403
東 灘 区	83,937	108,464	134,349	155,908	160,391	165,913	169,373	170,240
西 灘 区	114,401	138,214	155,360	168,976	181,064	189,731	191,463	185,654
北 灘 区	54,026	74,559	93,346	94,897	103,162	103,389	96,817	82,763
南 灘 区	68,927	81,540	85,386	76,938	72,225	67,737	62,218	55,750
生 田 区	176,612	218,453	238,592	254,076	272,512	282,960	282,645	270,783
長 瀬 区	167,109	189,806	202,338	214,345	224,776	232,238	232,373	224,550
須 磨 区	68,086	80,083	93,578	103,509	110,778	116,860	118,695	115,876
垂 水 区	87,888	95,225	111,028	148,017	168,979	191,615	212,332	229,787
姫 路 市	280,061	303,213	328,689	367,807	381,325	397,416	408,652	413,627
尼 崎 市	279,264	335,513	405,955	500,990	567,765	640,037	705,799	760,720
明 石 市	112,011	120,200	129,780	159,299	184,297	211,199	236,038	257,250
西 宮 市	168,319	210,179	262,608	336,873	396,034	459,480	518,578	569,705
芦 屋 市	53,122	49,358	48,497	46,313	44,180	42,213	39,627	36,435
伊 丹 市	42,951	50,690	57,050	63,195	64,049	65,285	65,684	65,077
相 模 川 市	59,838	68,982	86,455	121,380	155,160	190,999	225,297	256,126
豊 岡 市	35,894	35,905	36,521	38,921	39,986	41,307	42,115	42,278
加 古 市	41,525	42,341	42,569	43,259	44,433	45,909	46,816	47,006
竜 崎 市	84,735	87,428	89,539	101,841	110,528	120,130	128,400	134,699
赤 穂 市	35,387	35,009	34,966	35,340	35,651	36,367	36,618	36,307
西 脇 市	42,636	42,203	42,381	44,698	46,079	47,761	48,852	49,195
宝 塚 市	34,288	39,145	42,238	40,157	35,930	31,749	27,026	21,892
三 木 市	48,405	55,084	66,491	91,486	115,221	140,436	164,488	186,007
高 砂 市	38,445	38,876	38,264	38,542	39,178	40,016	40,343	40,052
三 木 市	49,771	51,131	53,565	61,000	66,159	71,865	76,773	80,503
高 川 市	32,555	35,158	41,916	61,282	81,573	103,036	123,729	142,516
小 野 田 市	35,744	36,623	36,343	36,695	37,544	38,584	39,138	39,093
川 辺 郡	33,211	33,667	32,528	32,265	31,405	30,685	29,537	27,936
美 加 郡	7,747	7,610	7,178	7,038	6,833	6,729	6,512	6,195
加 古 郡	9,506	9,364	8,798	8,146	7,908	7,589	7,161	6,623
加 古 郡	34,828	35,001	34,170	32,823	30,713	28,696	26,236	23,379
加 古 郡	34,839	37,367	37,597	35,469	33,832	32,135	29,963	27,333
加 古 郡	49,474	49,736	49,234	48,219	46,240	44,442	42,002	38,920
加 古 郡	26,302	27,080	27,339	29,715	32,891	36,358	39,440	41,915
加 古 郡	12,872	12,986	12,076	12,917	13,060	13,321	13,412	13,298
加 古 郡	23,842	24,017	23,877	24,217	28,408	32,800	36,766	40,061
加 古 郡	58,824	58,295	57,138	56,644	54,810	53,212	50,857	47,726
加 古 郡	56,877	56,345	55,886	58,391	59,354	60,836	61,547	61,316
加 古 郡	19,959	19,000	17,798	17,153	16,565	16,047	15,301	14,320
加 古 郡	38,352	35,664	32,455	28,921	26,434	23,815	20,807	17,482
加 古 郡	65,832	63,985	59,533	55,547	52,542	49,647	46,009	41,668
加 古 郡	54,960	54,653	53,011	50,385	48,185	46,170	43,479	40,127
加 古 郡	23,692	22,919	21,361	19,462	17,681	15,766	13,588	11,201
加 古 郡	47,863	46,768	44,077	40,128	36,711	33,132	29,012	24,451
加 古 郡	49,190	48,578	44,884	40,740	39,331	37,366	34,868	31,828
加 古 郡	49,619	49,225	47,118	43,637	40,436	36,927	32,825	28,223
加 古 郡	87,599	85,963	81,648	75,877	69,720	63,723	56,708	48,829
加 古 郡	57,083	55,181	51,611	47,346	45,032	42,663	39,662	36,053
加 古 郡	99,577	93,531	85,522	78,966	73,674	68,598	62,462	55,372
加 古 郡	73,581	70,687	64,789	60,194	56,358	52,711	48,256	43,055
奈 良 県	763,883	776,861	781,058	825,965	900,200	1,025,600	1,177,000	1,337,700
市 部	420,852	431,551	435,873	483,578	553,759	650,861	764,276	883,930
郡 部	341,507	345,310	345,185	342,387	346,441	374,739	412,724	453,770

推計結果表A (つづき)

(各年10月1日現在)

地 域	センサス人口				推 計 人 口			
	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年
奈 良 市	122,387	125,835	134,577	160,641	200,389	248,896	303,772	361,501
大 和 郡	39,443	39,425	41,705	47,371	55,179	65,613	77,699	90,441
天 田 市	43,559	43,508	43,093	45,765	48,560	53,947	60,653	67,769
橿 原 市	48,444	54,470	50,438	54,169	61,501	71,853	84,003	96,827
桜 井 市	48,008	48,951	49,954	57,065	67,616	81,317	97,074	113,676
五 条 市	48,388	48,091	47,752	49,939	51,817	56,537	62,632	69,114
御 所 市	33,782	34,753	32,805	32,840	33,055	35,149	38,088	41,234
	36,841	36,518	35,549	35,788	35,642	37,549	40,355	43,368
添 上 郡	2,781	2,683	2,483	2,355	2,189	2,178	2,265	2,406
山 辺 郡	13,509	13,101	12,371	11,826	10,983	10,888	11,120	11,438
生 駒 郡	49,658	50,121	51,468	61,098	76,806	95,837	117,326	139,926
磯 城 郡	31,851	31,440	31,052	31,768	32,153	34,407	37,566	41,017
宇 陀 郡	53,253	51,063	51,535	46,417	40,138	36,701	34,325	32,189
高 市 郡	17,849	17,480	17,080	16,315	15,117	14,819	14,916	15,098
北 葛 野 郡	64,795	67,201	68,222	76,171	83,835	100,433	119,569	139,733
吉 野 郡	107,811	112,221	110,974	96,437	85,220	79,476	75,637	71,963
和 歌 山 県	982,113	1,006,819	1,002,191	1,026,975	1,077,300	1,148,900	1,227,000	1,298,200
市 部	485,733	515,719	535,015	579,880	638,856	709,891	785,058	855,735
郡 部	496,560	491,100	467,176	447,095	438,444	439,009	441,942	442,465
和 歌 山 市	243,520	265,244	285,155	328,657	386,332	451,101	518,347	582,330
海 南 市	53,344	53,228	52,532	53,519	52,433	53,581	55,261	56,879
橋 本 市	32,180	32,449	32,015	32,807	33,895	35,621	37,482	39,069
有 田 市	32,333	35,736	35,068	33,530	32,694	32,529	32,724	32,928
御 坊 市	31,615	31,908	30,700	30,040	29,753	29,926	30,353	30,717
新 宮 市	57,587	58,611	60,431	62,276	63,087	65,091	67,322	69,044
	35,154	38,543	39,114	40,051	40,662	42,042	43,569	44,768
海 草 郡	40,818	40,336	38,019	36,145	35,356	35,109	34,979	34,586
那 賀 郡	80,919	78,916	75,736	76,718	78,646	82,564	87,232	91,704
伊 都 郡	62,277	62,227	59,573	59,439	59,048	60,242	62,193	64,235
有 田 郡	69,158	67,980	64,094	61,094	59,575	59,197	59,008	58,372
日 高 郡	88,560	86,713	81,662	76,210	72,521	70,219	68,085	65,377
西 牟 婁 郡	85,410	85,236	81,943	78,486	78,041	79,078	80,363	81,023
東 牟 婁 郡	69,418	69,692	66,149	59,003	55,257	52,600	50,082	47,168

推計結果表B

近畿圏6府県における市(区)郡別昼間将来人口
(昭和45, 50, 55, 60各年)

(各年10月1日現在)

地 域	センサス人口		推 計 人 口			
	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年
滋 賀 県	819,548	821,285	838,688	863,967	890,341	913,478
市 部	338,044	356,382	378,673	404,308	430,475	455,215
郡 部	481,504	464,903	460,015	459,659	459,866	458,263

推計結果表B (つづき)

(各年10月1日現在)

地 域	センサス人口		推 計 人 口			
	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年
大彦	117,197	126,577	136,904	148,365	159,973	170,979
津根	64,499	67,873	72,364	77,451	82,610	87,463
長浜	51,122	54,819	59,447	64,628	69,935	75,044
近江	42,348	41,330	40,293	39,721	39,240	38,691
八日	30,278	30,058	29,979	30,214	30,550	30,864
草津	32,600	35,725	39,686	43,929	48,167	52,174
滋栗	23,716	23,575	23,900	24,498	25,173	25,790
栗野	26,796	31,928	38,891	45,812	52,417	58,436
甲賀	48,402	50,892	54,671	58,811	62,915	66,692
蒲生	82,570	80,152	78,986	79,432	80,202	80,982
神崎	46,589	41,432	37,921	34,661	31,425	28,098
愛知	30,958	29,741	28,846	28,222	27,637	26,972
犬上	41,426	38,940	37,762	36,832	35,892	34,795
坂田	24,112	22,115	20,476	19,089	17,781	16,489
東上	39,069	36,683	35,132	33,852	32,737	31,204
伊香	34,120	30,852	28,390	26,213	24,107	21,986
高島	31,556	28,586	26,415	24,536	22,756	20,996
	52,190	50,007	48,631	47,701	46,824	45,823
京 都 府	1,981,320	2,107,096	2,298,267	2,550,549	2,848,448	3,159,345
市 部	1,634,419	1,755,934	1,917,378	2,132,893	2,388,609	2,660,428
	346,901	351,162	380,889	417,656	459,839	498,917
京福	1,300,298	1,414,839	1,550,919	1,736,068	1,959,652	2,202,410
知山	64,856	64,597	66,903	71,087	76,915	83,344
舞鶴	101,247	97,766	95,733	95,696	97,220	99,213
綾部	50,445	47,093	44,697	43,585	42,867	42,029
宇治	43,486	60,305	89,271	116,430	141,399	162,821
宮津	35,039	33,312	32,082	31,753	31,708	31,574
亀岡	39,048	38,022	37,773	38,274	38,848	39,037
乙久	27,602	46,185	80,128	115,973	154,772	196,227
綴喜	18,554	21,485	26,769	30,220	31,530	30,298
相模	40,278	41,947	46,414	51,418	56,324	60,534
北桑	45,419	42,766	41,381	40,375	40,926	38,004
船井	20,524	17,101	14,582	12,612	10,835	9,094
天加	55,587	50,011	45,333	42,234	39,937	37,893
与中	14,465	12,215	10,377	8,972	7,739	6,567
竹野	10,165	8,938	7,664	6,693	5,782	4,848
熊野	34,757	34,249	34,584	36,033	38,253	40,844
	26,156	26,097	26,096	26,851	28,210	29,845
	37,016	35,652	34,646	34,534	34,830	35,113
	16,378	14,516	12,915	11,741	10,701	9,650
大 阪 府	5,736,548	6,953,219	7,876,081	8,788,274	9,526,018	10,066,337
市 部	5,428,421	6,654,060	7,521,781	8,382,347	9,080,380	9,582,752
	308,127	299,159	354,300	405,927	445,638	483,585
大 阪 市	3,495,570	3,862,296	4,267,981	4,555,518	4,736,245	4,790,078
北都	269,897	307,636	394,887	468,811	541,695	598,711
福島	107,314	112,914	112,094	110,234	107,059	102,045
此花	120,602	116,990	121,159	122,773	123,520	121,690
西港	93,205	103,311	118,322	124,282	122,370	110,347
正王	242,282	297,395	402,249	490,411	579,083	650,231
天	131,274	142,180	164,611	181,759	198,462	209,994
	99,811	117,470	132,858	141,397	141,689	131,634
	107,183	105,633	106,897	99,087	84,562	64,757
	115,924	134,550	159,486	179,890	199,660	214,170

推計結果表B (つづき)

(各年10月1日現在)

地 域	センサス人口		推 計 人 口			
	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年
南 区	151,877	162,290	196,403	223,648	250,596	270,662
浪 区	102,393	105,798	113,099	118,021	122,144	123,556
速 区	75,411	77,502	82,029	84,875	87,123	87,477
淀 区	123,405	130,159	139,031	138,364	128,090	107,061
大 区	268,991	318,498	364,861	397,162	406,134	385,248
東 区	150,344	138,734	131,594	122,959	112,857	101,137
東 区	230,787	230,046	218,524	204,880	189,006	170,011
生 区	122,515	125,512	122,873	118,784	112,472	104,597
旭 区	208,766	247,089	274,432	295,451	303,286	295,804
城 区	153,275	164,236	172,676	179,305	184,030	185,014
阿 区	201,991	252,769	263,369	272,920	279,317	281,692
住 区	216,771	280,552	304,388	327,490	327,064	361,599
西 区	201,552	196,032	172,139	153,015	133,026	112,641
堺 市	323,136	438,162	471,540	503,402	528,390	544,159
岸 市	110,023	127,730	132,062	135,546	137,141	136,476
豊 市	155,454	225,469	269,484	312,836	352,385	385,849
布 市	210,992	277,378	318,170	361,538	406,084	449,450
池 市	53,738	76,086	94,790	114,439	133,862	152,719
吹 市	104,371	164,225	218,491	263,945	297,398	316,821
泉 市	47,351	53,602	53,947	52,625	49,232	43,768
高 市	72,606	113,061	148,178	178,488	201,892	216,997
貝 市	59,170	64,663	64,843	64,195	63,371	62,374
守 市	89,239	125,815	152,860	181,573	210,561	240,634
枚 市	64,751	103,810	140,419	178,346	215,587	250,271
茨 市	63,903	106,876	151,078	199,458	252,093	307,188
八 市	106,845	147,256	178,998	210,692	240,184	265,824
泉 市	56,382	63,760	64,754	65,310	64,949	63,539
富 市	34,004	42,263	48,325	53,247	56,511	52,802
寝 市	36,359	90,987	153,937	219,150	283,769	346,555
河 市	30,092	36,151	39,719	43,319	46,574	51,191
枚 市	42,764	62,084	77,296	88,564	94,864	81,529
河 市	47,640	83,179	123,031	166,809	214,290	264,786
松 市	39,206	56,299	54,725	81,739	90,893	96,802
大 市	32,582	54,804	80,126	108,354	138,875	170,867
和 市	65,522	74,649	75,887	76,364	75,528	73,234
箕 市	24,265	34,116	42,342	51,384	60,734	71,362
柏 市	32,803	43,902	53,030	63,353	74,655	86,561
羽 市	29,653	38,685	45,768	52,153	57,313	60,916
門 市	—	86,752	—	—	—	—
三 郡	29,343	48,788	70,278	91,584	111,628	128,641
豊 郡	13,353	12,204	11,094	10,004	8,839	7,640
泉 郡	51,672	47,602	55,877	63,928	71,128	77,047
泉 郡	83,761	87,777	91,442	94,565	92,223	96,289
南 郡	70,363	74,159	88,997	104,382	119,157	133,938
北 郡	59,635	28,629	36,612	41,464	42,663	40,030
兵 庫 県	3,786,641	4,117,877	4,353,384	4,586,464	4,737,016	4,802,754
市 部	2,910,252	3,308,397	3,615,322	3,900,422	4,111,168	4,243,792
郡 部	875,789	809,480	738,062	686,042	625,848	558,962
神 戸 市	1,130,568	1,232,407	1,336,439	1,410,060	1,443,674	1,440,155
東 区	108,081	127,958	134,231	141,540	147,236	150,748
灘 区	127,490	143,930	159,880	173,452	181,009	181,310
合 区	113,542	119,572	137,893	145,572	145,137	135,792
田 区	178,213	181,598	203,271	219,723	235,642	257,695
生 区	249,000	261,878	277,891	284,590	280,384	265,124
兵 区	190,047	197,086	202,231	204,346	199,864	188,689
長 区	77,596	89,692	100,121	109,977	116,131	118,559
須 区	86,599	110,693	120,921	130,950	138,271	142,238

推計結果表B(つづき)

(各年10月1日現在)

地 域	センサス人口		推 計 人 口			
	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年
姫路市	348,552	393,321	414,477	438,233	458,962	477,931
三木市	372,175	463,481	515,985	571,233	618,421	654,143
西宮市	122,411	146,327	164,762	183,616	199,405	210,996
洲本	227,128	282,161	320,906	359,773	391,889	414,973
芦屋市	49,630	49,437	49,647	49,737	49,738	49,542
伊丹市	44,591	50,553	52,418	54,630	56,173	56,851
相模野	78,588	106,452	131,110	155,282	175,957	191,838
加古川市	37,499	40,101	41,485	43,118	44,309	45,041
豊岡市	45,620	47,593	50,775	54,390	57,919	61,858
加東市	83,336	94,892	103,112	112,201	120,067	126,105
赤穂市	33,080	33,585	34,029	34,865	35,259	35,112
西宝市	38,477	41,055	41,130	41,394	41,075	40,089
高川	45,052	43,256	39,429	35,420	30,788	25,754
小三	54,117	72,481	88,801	105,201	119,665	131,302
川美	37,333	36,963	36,917	37,039	36,668	35,734
加多	52,949	63,216	72,329	83,004	94,392	107,516
加印	31,768	43,187	53,145	61,641	67,445	70,104
飾	35,686	35,515	35,806	36,254	36,222	35,629
神	31,692	32,414	32,620	33,036	33,140	33,119
赤	6,372	5,903	5,396	4,984	4,504	3,982
佐	8,376	7,375	6,791	6,164	5,482	4,762
穴	33,258	31,389	28,844	26,457	23,738	20,750
城	35,784	32,894	30,523	28,168	25,477	22,497
出	47,794	44,937	41,262	37,897	34,152	30,104
美	23,101	23,824	14,355	13,942	13,321	12,485
養	11,091	10,394	9,681	9,030	8,242	7,329
朝	22,380	21,669	25,540	28,958	31,986	34,454
水	49,949	48,787	46,459	44,329	41,567	38,195
多	47,522	47,144	45,391	43,880	41,669	38,752
津	16,380	15,375	14,450	13,613	12,613	11,460
三	31,045	26,757	23,654	20,584	17,363	14,098
原	58,106	53,816	50,532	42,534	43,676	39,418
良	51,840	48,317	45,343	42,690	39,576	36,064
奈	21,008	18,804	16,782	14,696	12,435	10,064
市	43,609	39,399	35,691	31,890	27,645	23,065
郡	45,227	40,474	38,719	36,502	33,962	31,243
和	45,827	41,848	38,381	34,641	30,432	25,872
大	79,139	71,863	64,780	58,078	50,872	43,446
天	50,029	44,387	40,931	37,556	33,866	30,007
樞	83,874	75,383	60,397	54,677	33,391	41,562
椽	64,078	58,741	54,160	49,886	44,920	39,353
五						
御						
添						
山						
生						
磯						
宇						
奈良県	737,645	764,643	817,544	914,192	1,033,950	1,157,427
市	407,245	460,379	523,194	610,383	711,504	816,894
郡	330,400	304,264	294,350	303,809	322,446	340,533
奈大	131,990	156,838	194,738	240,757	292,472	346,426
和	42,805	48,439	56,205	66,578	78,538	91,065
天	39,442	40,980	42,514	46,157	50,688	55,286
樞	47,085	51,343	59,170	70,152	83,222	97,311
椽	46,241	52,005	60,645	71,762	84,270	97,045
五	34,402	46,161	46,169	48,492	51,634	54,676
御	31,813	31,332	31,019	32,432	34,546	36,752
添	33,467	33,281	32,734	34,053	36,134	38,333
山						
生						
磯						
宇						
郡	2,441	2,230	1,994	1,905	1,899	1,930
郡	12,328	11,533	10,475	10,152	10,136	10,195
郡	42,032	47,510	56,874	66,209	78,561	88,830
郡	38,273	27,850	27,153	27,969	29,358	30,766
郡	49,194	42,856	35,966	32,070	29,338	27,165

推計結果表B (つづき)

(各年10月1日現在)

地 域	センサス人口		推 計 人 口			
	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年
高 北 吉	14,778	13,296	11,567	10,607	9,947	9,338
葛 野 郡	60,329	65,963	71,270	84,083	98,672	113,725
山 城 郡	111,125	93,026	79,051	70,814	64,535	58,584
和 歌 山 県	992,446	1,014,766	1,059,138	1,128,453	1,205,830	1,278,088
市 郡	523,319	591,982	654,404	732,940	817,483	899,068
和 歌 山 市	469,127	422,784	404,734	395,513	388,347	379,020
和 歌 山 市	290,767	339,791	404,915	479,205	558,001	635,147
海 南 市	50,234	49,765	49,219	49,841	50,923	51,919
橋 本 市	28,865	29,491	30,383	31,838	33,404	34,717
有 田 市	29,206	33,697	33,240	33,437	34,004	34,584
御 坊 市	32,128	32,562	29,197	28,391	27,806	27,138
田 辺 市	51,047	64,290	64,084	65,045	66,164	66,717
新 宮 市	41,072	42,386	43,366	45,183	47,181	48,846
海 草 郡	44,585	34,864	32,540	30,763	29,105	27,261
那 賀 郡	69,672	67,475	65,984	65,933	66,150	65,869
伊 都 郡	57,989	56,066	53,926	53,161	52,941	52,652
有 田 郡	62,753	59,289	57,050	55,931	55,006	53,682
日 高 郡	78,452	71,611	66,317	62,443	58,835	54,855
西 牟 婁 郡	91,363	76,911	76,679	78,321	80,487	82,360
東 牟 婁 郡	64,315	56,568	52,236	48,958	45,819	42,338

推計結果総括表 (昭和45, 50, 55, 60各年)

(各年10月1日現在)

地 域	夜 間 推 計 人 口				昼 間 推 計 人 口			
	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年
6 府 県 合 計	17,243,100	18,831,899	20,241,600	21,355,702	17,243,102	18,831,899	20,241,603	21,377,429
市 部 合 計	14,233,297	15,675,666	16,934,524	17,921,517	14,610,752	16,163,293	17,539,619	18,658,149
郡 部 合 計	3,009,803	3,156,233	3,307,076	3,434,185	2,632,350	2,668,606	2,701,984	2,719,380
滋 賀 県	879,800	913,600	947,900	977,800	838,688	863,967	890,341	913,478
市 郡	363,314	383,598	403,882	422,357	378,673	404,308	430,475	455,215
京 都 府	516,486	530,002	544,018	555,443	460,015	459,659	459,866	458,263
市 郡	2,272,800	2,498,899	2,754,000	3,006,600	2,298,267	2,550,549	2,848,448	3,159,345
大 阪 府	1,835,660	2,003,844	2,192,909	2,379,895	1,917,378	2,132,893	2,388,609	2,660,428
市 郡	437,140	495,055	561,091	626,705	380,889	417,656	459,839	498,917
兵 庫 県	7,505,900	8,337,300	9,009,400	9,494,200	7,876,081	8,788,274	9,526,018	10,066,337
市 郡	7,071,324	7,822,555	8,418,972	8,837,773	7,521,781	8,382,347	9,080,380	9,582,752
和 歌 山 県	434,576	514,745	590,428	656,427	354,300	405,927	445,638	483,585
兵 庫 県	4,607,100	4,907,605	5,126,300	5,241,202	4,353,384	4,586,464	4,737,016	4,802,754
市 郡	3,770,384	4,104,917	4,369,427	4,541,827	3,615,322	3,900,422	4,111,168	4,243,792
和 歌 山 県	836,716	802,683	756,873	699,375	738,062	686,042	625,848	558,962
奈 良 県	900,200	1,025,600	1,177,000	1,337,700	817,544	914,192	1,033,950	1,157,427
市 郡	553,759	650,861	764,276	883,930	523,194	610,383	711,504	816,894
和 歌 山 県	346,441	374,739	412,724	453,770	294,350	303,809	322,446	340,533
和 歌 山 県	1,077,300	1,148,900	1,227,000	1,298,200	1,059,138	1,128,453	1,205,830	1,278,088
市 郡	638,856	709,891	785,058	855,735	654,404	732,940	817,483	899,068
和 歌 山 県	438,444	439,009	441,942	442,465	404,734	395,513	388,347	379,020

Estimated Future Population in Residence and Working
Place by Minor Districts in Six Prefectures of
Kinki Region, 1970~1985

Hidehiko HAMA

1. Contents of the estimate

Future population of 374 districts (Shi, Ku, Machi and Mura) in six prefectures (Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara and Wakayama) are estimated as of 1 October respectively in 1970, 1975, 1980, and 1985, both in residence and in working place.

2. Principles of method in the estimate

(1) In this estimate, population shares of each district respectively to the prefectural total population are adopted in order to estimate future population. In each district secular trends by past changes of population are extrapolated to the future.

(2) Five areal types are assumed on the basis of past population changes in the Kinki metropolitan region, that is, moving from the civic center to peripheral zone, (1) decrease in civic center, (2) stagnation in the adjacent area, (3) rapid increase in newly developing area, (4) moderate increase in outer zone, and (5) decrease in rural area.

This areal pattern by population change can also be applied in order to extrapolate past changes to the future in each district.

(3) The extrapolated shares in each district are applied to the prefectural total population respectively which has been already given in the former estimate of prefectural populations of Japan.

(4) Population estimates in working place are calculated by assuming the ratio of population in working place to that in residence.

3. Results of the estimate

In contrast of distinctive decrease of population in the civic centers of Osaka, Kobe and Kyoto, three regions of rapid population increase to the future are emerging. They are located to northern, north-eastern and southern part of Osaka, and among them the north-eastern region occupies distinctively larger area than the others.

Though the northern region has already been limited in its population increase to the future, the southern region may have more possibility of development because of having larger area of hinterland which shows moderate increase of population.